東山東小学校だより

2024年6月号
NO. 4

縦割り班活動始動　！！

初夏の風に肌も汗ばむ季節となりました。子どもたちは、自分の力を精いっぱい発揮し、頑張っています。朝、校門の近くで見つけたダンゴムシを見せてくれる子、「昨日まで蛹だったのに、朝来たらもう蝶になっていたよ。」と教えてくれる子。みんな、「発見！」に生き生きとした歓声を響かせています。

さて、１学期も半ばとなり、６年生は、様々な場面で最高学年としての立場や役割を意識した言動が見られ、「今度は自分たちが全校を引っ張っていく」という意気込みが頼もしくも感じられるようになってきました。「集団づくり」「仲間づくり」が大事なこの時期、学級や学年を超えた異学年集団による活動の基盤となる「縦割り班活動」もスタートしました。「縦割り班活動」では、多様な人とのかかわり方を学ぶことになります。異学年集団による活動を通して、それぞれの違いを受け止めてお互いのよさや強みを認め合い、助け合うことの大切さや感謝の気持ちを育てていきたいと考えています。

５月９日（木）に、縦割り班会議を行いました。１年生から６年生までの子どもたちが数人ずつのグループに分かれ、それぞれのグループで「春の四季の郷への遠足に向けて」の話し合いをしました。担当の先生の指導のもと、６年生が中心となって一緒に活動しながら、年間を通して異学年交流をしていきます。６年生・５年生の中には、リーダー役が苦手だという子もいると思います。しかし、リーダーの経験をし、下級生の面倒を見る中で悩んだり困ったりするような経験を通して、いろいろな人とのかかわり方を学習することができます。また、下級生は上級生の姿を見て、上級生としてあるべき言動を覚えたり、メンバーの一員としてどうすることが良いのかを学んだりしていきます。学校での縦割り班活動は大いに意義あるものであると考えています。

まずは、春の遠足が新しい自分づくりとともに、集団づくり、仲間づくりの第一歩として、みんなで力を合わせて思い出に残る遠足になるように、また、お互いがよい刺激を受けながら、面倒見のよさや頼もしさなど、いつもと違った活躍を楽しみにしたいと思います。

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）について

本校では、今年度も「学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を設置しています。「学校運営協議会制度」について文部科学省のホームページでは次のように紹介されています。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

学校運営協議委員の皆さんに、学校の実態を知っていただき、問題や課題に対してそれぞれの立場から熟議してもらえたらと思っています。子どもたちの笑顔を増やせるようお力添えをいただきながら、有意義な会にしていきたいと考えています。ご協力、よろしくお願いします。

6月

1	土	うちどく	17	月	委員会 6年わうくらす①
3	月	全国歯磨き大会(5年)13:45～	19	水	青岸見学4年
5	水	いじめなくそうデー 6年個人写真 ﾌﾟｰﾙ掃除 5･6年(予備日 10日)	20	木	プール開き 水育5年オンライン出前授業3限
6	木	歯の保健学習 梅ジュース作り 4年	21	金	6年わうくらす②
7	金	6年個人写真 心電図二次(1年対象児のみ)	27	木	禁煙教育 6年
8	土	子どもｾﾝﾀｰ(けん玉教室･世界ﾁｬﾝﾋﾟｵﾝ向井智哉先生けん玉ショー)	28	金	社会見学5年 6年わうくらす③ ALT
13	木	参観･懇談 給食試食会 救命救急講習 第一回学校運営協議会	29	土	前期学校美術展①(県民文化会館)
14	金	禁煙教育 4･ 5年	30	日	前期学校美術展②(県民文化会館)

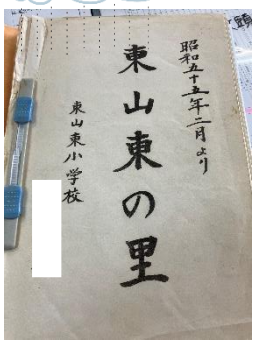
令和6年度育友会 役員の紹介

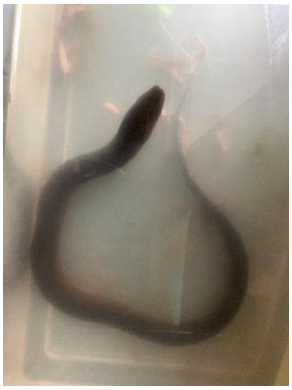
次の方々が令和6年度育友会の役員として選出されました。(敬称略)

会 長	福山 圭吾	書 記(交通安全母の会会長)	外畑 朋子	会 計	木戸地大介
副会長	矢出 大介	書 記	犬尾 奈央子	会計監査	南 育子
副会長(女性代表)	藤田 麻美				

☆1年間、ご協力よろしくお願いいたします。

お世話になっております。教頭の木下です。ひょんなことから右のようなものを見つけました。読んでみたら、めっちゃおもしゃい!!只今絶賛愛読中です!!「へぇ～「ほぉ～」「はぁ～」と新鮮な驚きが多く、例えば「弥生時代(100年)は東と書かないで藤と書き、山藤(サンドウ)であった」。弥生時代に限らず、歴史は小学生も教科書で学習します。しかし、ついつい「教科書の中の出来事」と思ってしまいがち。いやいや、そんなことはありません!!弥生時代にも東山東は存在し、人の営みが存在し、歴史が存在するんです!!江戸時代、戦国時代の東山東はどんなんだったんでしょう?教科書の歴史の学習も大切ですが、じゃあその時の東山東はどうだったのか?そこまで学ばせて、子供たちの学びを「自分事の学び」にしてあげてほしいなと思います。それにしても、なんでぇ「山藤」が「山東」に変わったんやろ?考えるだけでロマンがありますね!!





「おんねや～」子供がタウナギをつかまえていました。最後は私の車に積んであった穴釣り用のベイトリールを貸しましたが、それまでは自分で、ああでもない、こうでもないと知恵を巡らしては色々な道具を作って試行錯誤を繰り返していました。それにしても、東山東小学校の敷地は色々な生き物がいて楽しいですね。新潟の田舎で野生児みたいに育った私にはパラダイスです。生き物探しって、一見お遊びのように思うかもしれませんが、私には東山東でしかできないとっても素敵な値打ちのある学びに思えます。「どうしたらつかまえられるんやろ」と課題をもち、試し･調べ･知恵を出し合い、解決する。そして、また新たな「?」が生まれる･･･ 遊びの中にこそ、子供にとっての課題解決の学びがつまっています!!